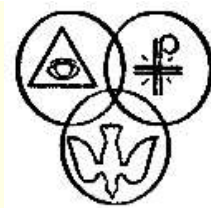


5月の28日聖霊降臨祭日で、復活節の時期が終わって、典礼は「年間」に入ります。6月になると、もう夏が近づいたと感じます。



6月4日三位一体の祭日です。

十字架の印を切る度に、神が創造主であり、救い主と愛であると私達は宣言します。偉大な奥儀ですが理屈で説明できないのですけれども、イエスがそれを教えてくれたので、我らはそれを信じます。

6月11日キリストの聖体の祭日です。

イエスは最後の晩餐で「これを私の記念として行いなさい」。教会が主の望みどおり、与えて下さった心の糧として感謝して行います。聖パウロはコリントの信徒に「わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです」と書き残した。



6月16日イエスの聖心の祭日です。

“イエスのみ心”に対する信心の歴史は、中世にさかのぼります。聖マルガリタ・マリア・アラコクが“聖心”の信心についての啓示を受けた17世紀に、フランスで広まりました。そして1856年には、教皇ピオ9世によって、ローマ教会全体で祝うことが定められました。この祭日の目的は、“イエスのみ心”に表される神の愛を思い起こすと共に、イエスの無限の愛のしるしである“み心”をたたえることです。



## 6月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	担当
4	日	三位一体の主日 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日 お告げの祈り 再開	9:00 ミサ 先読み:多田 第1:安藤 第2:三上朋 答唱詩編:高塚/間野 オルガン:野呂
11	日	キリストの聖体 司祭と召出を求めるために祈る日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:本田 第2:西川薫 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:野呂
18	日	年間第11主日 病者と洗礼志願者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:多田 第1:トウイハン 第2:間野 答唱詩編:安藤/古野 オルガン:野呂
25	日	年間第12主日 教会から離れた信者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:多田 第2:高塚 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:野呂
◆平日のミサ 月曜日～金曜日 6:00、土曜日 10:00			

◆今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

29日 聖ペトロ

多田博道、安藤義満、間野清光、西川薫

◆お知らせ

- ・ロザリオ会 6月9日(金)午後7時から 信徒会室
- ・毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。
- ・18日(日)ナルチゾ神父様叙階59年祝い(1964年6月21日)

花当番	
3日(土)	古野
10日(土)	高塚
17日(土)	多比良
24日(土)	野呂

◆その他

- ・25日(日) 聖ペトロ使徒座への献金

アウグスチノ鎌塚忠を偲んで



平成17年、私は父の他界を機に、札幌から奈井江に戻ってきました。父は74歳で召されたので、もし生きていたらと鎌塚さんの姿に照らし合わせてきたような気がします。二人とも曲がった事が嫌いで頑固な所と優しい所は共通していました。当時はまだお元気で、侍者が変わるたび熱心に指導していた姿を思い出します。

いつから自分が侍者になったのかは思い出せない程、昔からになってしまいましたが、今思うに香部屋典礼係として、又、神父様に対しての向き合い方は真剣そのものでした。

鎌塚さんのように出来ませんが、背中を見て来られたのは感謝であり財産となります。足が痛くて教会になかなか来られなくなり、もう少しで侍者として30年になるのでそれまで頑張りたいと云っていた事、香

部屋に居ると心が落ち着くと云っていた事、お母ちゃんを見送ってから自分が逝きたいと云っていた事を思い出します。

見栄や体裁とは無縁で、実直で誠実な考え方、向き合い方は見習いたいと思います。

いずれ天国で会えるように……。

ラクダよりはスムーズに針の穴を通れるように。

天国に、小さくても徳を積めるような信仰へ私も向き合いたいと思います。

鎌塚さんのように……。

間野 清光

